



わるいことをして死んだら、地獄に行くって本当なの

地獄は想像の世界

地獄とは、死んだ人が行く、この世とはちがう想像上の世界です。

地獄がどんなところは、国によっても宗教によっても、いわれていることはちがいますが、共通しているのは、この世で悪いことをした人が行くのが地獄で、いいことをした人が行くのが天国ということです。宗教上の地獄を、二つほどしょうかいしましょう。

仏教では、この世で悪いことをした人が落ちる、閻魔(人間のこの世での行いをさばく、地獄の大王)の支配する地下のろうごくで、あらゆる苦しみをおわされるとしています。

キリスト教では、死ぬときになっても、自分のおかした大罪をくい改めない人が、永遠の苦しみやばつを受けるところとしています。

いずれにしても、地獄へ行きたくなかったら、悪いことはしないほうがいいようですね。

地獄が入ったことわざ

「地獄で仏に会ったよう」 ...非常に困っているときに、思わぬ助けを受けて、非常にうれしいことをたとえることば。

「地獄のさたも金次第」 ...地獄の裁判でも金で自由になるくらいに、この世でも、すべてに先立つものは金であるとしたたとえ。

(監修・保志 宏)

